

日本語教育におけるシャドーイングの有効性 — 1 名の学習者を対象とした短期実験からの多角的考察 —

唐澤 麻里

学位取得年月：平成 19 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 シャドーイング、ワーキングメモリ、単一事例実験
【要旨】

本研究はシャドーイングの有効性を多角的に考察するものである。1 名の学習者を対象に短期実験を行い、聴解力・ワーキングメモリに関わる能力・発音面・学習者意識に対するシャドーイングの影響を検討した。単一事例実験の手法で分析を行った聴解力については、効果が認められなかった。しかし記述統計分析によって、ワーキングメモリに関わる能力には向上が見られたことから、シャドーイングが聴解力に対し部分的な効果を持つことが推測された。発音面では練習後に誤用が減少しており、シャドーイングによる発音改善が示唆された。学習者の意識面については質的分析の結果、聴解面や発音面、新規語彙・表現習得、学習動機などにシャドーイングの効果が見出された。

(からさわ まり)

語彙習得におけるアウトプットの効果 — 読解活動で output 課題を与えたときの付随的語彙習得 —

金 春梅

学位取得年月：平成 19 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 インプット、アウトプット、語彙習得、読解
【要旨】

本研究では付随的語彙習得におけるアウトプットの効果を検証するのを目的としている。具体的には読解活動の後、アウトプット課題を与える語彙ともう一度インプットを与える語彙を設けて、二種類のテストを用いて、語彙の表記、読み、意味の習得をそれぞれ測定する。中国で日本語を勉強している中国語母語話者（上級日本語学習者）を対象に、読解直後と一週間後の語彙テストの成績を調べた。その結果、直後テストの語の表記の習得、遅延テストの語の読みの習得において、アウトプット課題を与えた語彙の成績がインプットのみ与えた語彙より有意に高かった。語彙別に調べたところ、表記や読みの間違いやすい語彙にアウトプットの効果が大きかった。語の意味の習得にはアウトプットの効果は検証されなかった。

(きん しゅんめい)